



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣地 厚

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	107,682	1.1	6,090	0.3	6,385	2.0	4,506	1.6
2019年3月期第3四半期	106,522	0.6	6,070	2.2	6,513	3.8	4,577	9.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,905百万円 (147.2%) 2019年3月期第3四半期 1,984百万円 (75.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	250.92	249.73
2019年3月期第3四半期	252.45	250.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	176,474	112,185	62.7	6,245.32
2019年3月期	169,632	111,068	64.6	6,059.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 110,651百万円 2019年3月期 109,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				110.00	110.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	4.5	7,000	4.6	6,800	4.9	4,300	5.2	240.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	19,293,516 株	2019年3月期	19,293,516 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,576,049 株	2019年3月期	1,220,318 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	17,960,787 株	2019年3月期3Q	18,134,014 株

自己株式数には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)における日本経済は、企業業績や雇用環境の改善等を背景に全体としては緩やかな回復基調で推移したものの、消費増税の駆け込み需要の反動影響、相次ぐ自然災害に加えて、米中貿易摩擦の長期化、新興国経済の不確実性などにより、先行き不透明な経営環境が続きました。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ(2017年度～2020年度)」の3年目を迎え、『集中と結集』をキーコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めました。

機能ソリューション事業は、半導体市場の低迷による影響を受けましたが、M&Aによる効果もあり売上高は堅調に推移しました。アパレル事業は、消費増税後の消費マインドの低下や、大型台風等の自然災害、暖冬による影響を受けましたが、事業体質改善に注力しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は107,682百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は6,090百万円(前年同期比0.3%増)となりましたが、為替影響等により、経常利益は6,385百万円(前年同期比2.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,506百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、ナイロンフィルムが堅調に推移したものの、OPPフィルムや多層フィルムは市況の影響を受け苦戦しました。エンジニアリングプラスチックス分野は、半導体市場向け及び産業機器向けは苦戦しましたが、OA向け製品が引き続き堅調に推移しました。電子部品分野は、フィルム販売は減少しましたが、中国内販は堅調に推移しました。メディカル分野は、株式会社メディカルユーアンドエイの子会社化により増収となりましたが、米国向け縫合補強材の減少と治験費用等の増加影響を受けました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は42,444百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は4,597百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

<アパレル事業>

アパレル事業全体では、消費増税後の消費マインドの低下や、大型台風等の自然災害、暖冬による影響を受け苦戦しましたが、インナーウェア分野は、メンズインナーのBODYWILD「AIRZ」や、レディスインナーのブランドリニューアルしたTucheが順調に推移し、レグウェア分野を含めた事業体質改善により、収益性が向上しました。

以上の結果、アパレル事業の売上高は54,552百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益は3,036百万円(前年同期比15.9%増)となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業は地域に密着した運営に取り組み堅調に推移し、賃貸事業においては新規物件が貢献しました。スポーツクラブ分野は、会員数の減少に歯止めがかかったものの新店舗の費用負担で苦戦しました。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は11,038百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は841百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、176,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,842百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金の増加2,481百万円、受取手形及び売掛金の増加1,693百万円、有形固定資産「その他」の増加3,351百万円（建設仮勘定等）であり、主な減少要因は、投資その他の資産「その他」の減少1,890百万円(出資金等)であります。

負債は、64,289百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,725百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加5,678百万円であります。

純資産は、112,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,116百万円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加4,506百万円であり、主な減少要因は、配当による減少1,995百万円、取締役会決議に基づく自己株式の取得による減少1,958百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、2019年5月14日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,102	10,583
受取手形及び売掛金	30,376	32,070
商品及び製品	20,082	20,824
仕掛品	6,413	7,010
原材料及び貯蔵品	4,635	4,633
その他	3,426	4,161
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	73,030	79,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,113	40,508
機械装置及び運搬具(純額)	9,897	9,204
土地	13,005	12,948
その他(純額)	2,466	5,817
有形固定資産合計	66,483	68,478
無形固定資産	2,143	1,838
投資その他の資産		
投資有価証券	19,170	19,944
その他	9,059	7,168
貸倒引当金	△254	△232
投資その他の資産合計	27,975	26,881
固定資産合計	96,602	97,198
資産合計	169,632	176,474

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,910	10,049
短期借入金	6,416	5,754
コマーシャル・ペーパー	6,200	12,900
1年内返済予定の長期借入金	2,101	2,010
未払法人税等	1,376	1,235
賞与引当金	1,314	372
その他	9,350	9,800
流動負債合計	36,669	42,122
固定負債		
長期借入金	10,972	10,702
退職給付に係る負債	5,534	5,188
長期預り敷金保証金	4,500	5,092
その他	886	1,181
固定負債合計	21,894	22,166
負債合計	58,563	64,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,754	6,727
利益剰余金	82,050	84,470
自己株式	△5,293	△6,897
株主資本合計	109,583	110,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224	738
繰延ヘッジ損益	19	9
土地再評価差額金	△54	△45
為替換算調整勘定	745	184
退職給付に係る調整累計額	△1,011	△608
その他の包括利益累計額合計	△76	278
新株予約権	260	212
非支配株主持分	1,301	1,321
純資産合計	111,068	112,185
負債純資産合計	169,632	176,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	106,522	107,682
売上原価	75,174	74,747
売上総利益	31,348	32,934
販売費及び一般管理費	25,277	26,844
営業利益	6,070	6,090
営業外収益		
受取利息	47	31
受取配当金	435	506
固定資産賃貸料	255	267
為替差益	196	22
その他	123	98
営業外収益合計	1,058	927
営業外費用		
支払利息	170	165
固定資産賃貸費用	241	241
その他	204	224
営業外費用合計	616	631
経常利益	6,513	6,385
特別利益		
固定資産売却益	647	296
投資有価証券売却益	181	58
受取和解金	—	128
その他	3	21
特別利益合計	832	505
特別損失		
固定資産除売却損	127	142
投資有価証券売却損	—	50
関係会社株式売却損	450	—
関係会社投融資評価損失	76	—
建設計画変更損失	—	75
債務保証損失引当金繰入額	—	63
その他	0	34
特別損失合計	653	365
税金等調整前四半期純利益	6,691	6,525
法人税等	1,994	1,944
四半期純利益	4,696	4,580
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,577	4,506

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,696	4,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,831	513
繰延ヘッジ損益	97	△9
為替換算調整勘定	△328	△582
退職給付に係る調整額	350	403
その他の包括利益合計	△2,711	325
四半期包括利益	1,984	4,905
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,877	4,851
非支配株主に係る四半期包括利益	107	54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,740	55,669	11,113	106,522	—	106,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57	168	96	321	△321	—
計	39,797	55,837	11,209	106,844	△321	106,522
セグメント利益	4,903	2,620	893	8,417	△2,346	6,070

(注)1 セグメント利益の調整額△2,346百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイティブ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,336	54,407	10,938	107,682	—	107,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108	145	100	354	△354	—
計	42,444	54,552	11,038	108,036	△354	107,682
セグメント利益	4,597	3,036	841	8,475	△2,385	6,090

(注)1 セグメント利益の調整額△2,385百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。